

## 山間地における耕作放棄地再生利用の事例

取組主体	・ 農事組合法人 鶴生ライスグローイング	地区名	・ 大清水、羽太、追原、真船地区
解消面積	・ 189a	再生作業年	・ 平成22年度～26年度
導入作物	・ WCS用稲、デントコーン	取組のきっかけ	・ 飼料作物であるデントコーンに注目し、耕畜連携を進めた。

## 取組の概要

当村は、県内でも酪農が盛んな地域であり、当該取組法人は耕作放棄地を解消し、そこへ飼料作物であるデントコーンやWCS用稲を作付けし、耕畜連携を進めた事業展開を行っている。平成26年度には、県の補助事業（耕作放棄地活用条件整備復興促進事業）を活用し、耕作放棄地の解消による規模拡大を図るためトラクタ等の機械整備を実施した。

## 取組のきっかけ

耕作放棄地はほ場条件が悪いところが多いが、あまり条件を気にせずに栽培できる飼料作物であるデントコーンに注目し、耕畜連携を進めた。

## 取組主体の感想

山間地などでほ場条件が悪いところの耕作放棄地については、再生した後に作付する作物として、栽培に水利などの条件もなくあまり手間がかからないデントコーンは最適な作物であると感じている。ただ山間地にあっては、課題として鳥獣害対策が必要となってくる。

## 解消状況例

再生前

再生後



連絡先：西郷村農業再生協議会（西郷村）

電話番号：0248-25-1116 FAX：0248-25-2590

活用事業：耕作放棄地再生利用緊急対策（国）、耕作放棄地活用条件整備復興促進事業（県）